

(17) 野幌南土地区画整理事業

本地区は、野幌駅から南東約1.5kmに位置し、農地として土地利用されてきたが、西側に道々野幌総合運動公園線、北側に土地区画整理事業(東西野幌地区)がほぼ完了している地区と接し、市街化の進行の波及的影響を受け、宅地供給への期待が高まっていた。

こうした状況から、北海道縦貫自動車道を挟んだ南側のリサーチトライアングル・ノース(先端技術頭脳集積地)構想地区及び野幌総合運動公園の整備に伴い、既成市街地との連担地区として、計画的な公共施設の整備改善、特に区画道路の歩道部をレンガブロック舗装にするなど江別市の伝統産業を取り入れ景観にも配慮した施設整備を行ない、健全な市街化造成を図った。

《 事業概要 》

施 行 者	組 合	公 共 減 歩 率	26.4%
施 行 面 積	12.8ha	保 留 地 減 歩 率	26.1%
施 行 期 間	平成 2～ 6年度	合 算 減 歩 率	52.5%
総 事 業 費	1,457,384千円	公 共 用 地 率	30.4%
設 立 認 可	平成 2年 6月18日	都 市 計 画 道 路	0.4ha(0.4km)
認 可 公 告	平成 2年 6月28日	区 画 道 路	2.7ha(3.2km)
仮 換 地 指 定	平成 3年 3月10日	公 園 ・ 緑 地	0.4ha
換 地 処 分 の 公 告	平成 4年 7月31日	そ の 他 公 共 用 地	0.4ha
解 散 認 可 公 告	平成 6年12月 2日	保 留 地 面 積	3.2ha

《 区域図 》

